

No.	仕様書等該当箇所 (ページ、項目等)	質問	回答
1	入札仕様書 p.16	遂行責任者の要件について、「ITストラテジスト試験の合格者、又はプロジェクトマネージャ試験の合格者又は技術士（情報工学部門）の資格を有する。但し、当該資格保有者等と同等の能力を有することが明らかなる者については、その経歴等を明確に示し、広域機関の承認を得ること。」とあるが、「但し」以降の具体的な要件や承認方法をご教示いただきたい。	具体的な要件については、プロジェクトマネージャ試験の合格者又は技術士（情報工学部門）の資格を有する方を遂行責任者に割り当てる事ができない場合は、貴社の判断で、同等の能力を有する事を、その実務経験や経歴等から明確に示して頂ければ結構です。例えば、PMP（プロジェクトマネジメントプロフェッショナル）等、同等と思われる資格を保有している場合はその旨を示して頂ければ結構です。また、同等資格が無い場合は、実務経験や経歴等から遂行責任者としての役割を円滑に遂行するための、知識や実践能力が備わっていることを示して頂ければ結構です。なおその場合は、本プロジェクトの目的の実現に向けて、プロジェクトマネジメントの業務と、これまでの経験が本プロジェクトにどのように有益に働くのかを合わせて示して頂く必要があります。 承認方法は、評価項目の3.業務委託実施体制の一次評価により行います。
2	入札仕様書 p.15 応札資料作成要領 p.3	プロジェクト・リーダーの要件について、「プレゼンテーションはプロジェクト・リーダーが実施すること」とされているが、それ以外の業務遂行体制におけるプロジェクト・リーダーの具体的な役割のイメージをご教示いただきたい。また、遂行責任者がプロジェクト・リーダーを兼ねることは可能かをご教示いただきたい。	プロジェクト・リーダーには、プロジェクト全体スケジュールに基づき、委託業務内容ア～オのWBSや進捗・課題等を取りまとめ、プロジェクト全体会議で報告して頂きます。また、各業務内で担当する業務委託従事者の作業進捗を妨げる技術的・衛生的な問題、もしくはリスクへの対応を行うことをイメージしています。遂行責任者がプロジェクト・リーダーを兼ねることは可能ですが、プロジェクト・リーダーには実務作業の中心的な役割を担っていただき、高い関与度が求められます。
3	-	業務遂行にあたっての弊社体制を具体化するために、契約期間または業務ア～オに関する貴機関の体制(職位・人数・役割)とその関与率をご教示いただきたい。	<弊機関のリプレース検討体制(システム方)> ●2022年度 PM1名(現組織マネージャーが兼任) 担当者3名(内2名は約8割専任) ●2023年度以降(増員方向で調整中) <弊機関のリプレース検討体制(業務方)> 運用業務に関する検討人員については、必要に応じて(機能別を想定)兼任で検討に参加する予定です。
4	入札仕様書 p.11	理事会、資源エネルギー庁、電力・ガス取引監視等委員会、一般送配電事業者等、広域機関内外のステークホルダーと広域機関システムのリプレースに係る会議等を設けると記載があるが、同会議等に関して実施の開始・終了時期や開催頻度等、現時点の想定があればをご教示いただきたい。	落札事業者様にご参加いただく機関内の会議体は、ステコミを想定しており最大1カ月に1回、状況により臨時開催する想定。一送など機関外の会議体は、最大でも1年に2～3回程度の想定しているが、落札事業者様の会議参加要否は内容によります。なお多少の増減はあるものと想定しています。
5	入札仕様書 p.12	2025年4月から6月にかけて実施する技術審査対応において、応札事業者からの質問に対する回答書の作成支援及び提案書やプレゼンテーション内容が調達仕様書や要件定義書に記載した要件を満たしているかを検証すると記載がある。システムの入札公告は2025年8月予定であるが、上記期間で応札事業者(システムベンダー)との質疑対応や提案書・プレゼンテーションの確認が必要になる作業について想定があれば確認させていただきたい。	仕様書の内容に誤りでした。 入札仕様書P.12「また、応札事業者からの質問に対する回答書の作成支援及び提案書やプレゼンテーション内容が調達仕様書や要件定義書に記載した要件を満たしているかを検証し、広域機関の技術審査支援を行う。」はスコープ外となります。 調達仕様書を修正させていただきます。
6	入札仕様書 別紙1 技術・プロセス等の提案に関する委託事項 p.14-15	RF11回目については2023年4月までに締め切りを完了する必要があると認識しているが、本受託契約前に貴機関にて候補ベンダーへのRFIを開始するか、もしくは本契約後に開始するか、RFI1回の実施スケジュールについてご教示いただきたい。	当初、本契約後に開始する事を想定していたが、必要性を再検討した結果、2023年4月目途分のRFI1回目は取り止めさせていただきます。 また、2024年5月目途分のRFI1回の実施スケジュールについては、応札希望事業者と調整させていただきます。 調達仕様書を修正させていただきます。
7	入札仕様書 別紙1 技術・プロセス等の提案に関する委託事項 p.14-15	RFIの候補となるベンダーは、既に決まっている認識でよいか。決まっている場合、候補社数とコンタクト状況についてご教示いただきたい。	現時点での想定ですが、最低6社にはお願いする予定です。
8	入札仕様書 p.8-9	入札仕様書で示されている概要スケジュールについて、技術評価支援とプロセス評価支援の中に記載されている各スケジュールは、完了期限を示すものではないと認識しているが問題ないか、ご教示いただきたい。 ※別紙1にて示される技術・プロセス評価支援の完了目途への対応を前提に、スケジュールが前後することを想定している。	ご認識のとおりです。
9	入札仕様書 p.8 入札仕様書 別紙1 技術・プロセス等の提案に関する委託事項 p.19	貴機関のプロジェクト計画書(雛型)作成に基づき実施される、ア プロジェクト計画書の作成支援における2023年2～4月の「プロジェクト作成支援」の作業と、イ 技術・プロセス評価支援における3.ドキュメント作成で使用するひな形暫定版へのフィードバックの「プロジェクト計画書ひな形へのフィードバック」の作業は、同内容となる認識で合っているか。別の作業想定等があればご教示いただきたい。	ドキュメントとしては同じものですが、支援内容は異なります。 ア プロジェクト計画書の作成支援における2023年2～4月の「プロジェクト作成支援」の作業 ⇒「イ」のひな形をベースに本プロジェクトとしての内容を作成していく工程での支援をお願いします イ 技術・プロセス評価支援における3.ドキュメント作成で使用するひな形暫定版へのフィードバックの「プロジェクト計画書ひな形へのフィードバック」の作業 ⇒ひな形を正式版とするための支援をお願いします
10	評価項目一覧 1-2 業務委託内容の評価基準： 加算	評価項目一覧の加算要素に、「広域機関側で実施する現行システム調査結果」という記載があるが、仕様書上に現行システム調査の工程がはいつ実施されて、どのようなアウトプットを受託者に開示するといった想定があれば、ご教示いただきたい。 また、「調査結果」の内容を受託者が検証する時期と期待する成果についても、現時点での想定があればご教示いただきたい。	「提供資料一覧」に加えて、既設ベンダー課題整理をお願いしている資料が追加となる想定です。調整中ではあるが2023年度上期中を想定しています。
11	入札仕様書 別紙1 技術・プロセス等の提案に関する委託事項 p.17 ③移行計画の策定	移行戦略の確定後に移行計画(詳細スケジュール)を作成することを想定しているが、完了目途の1点目に記載されている2023/5初(中期計画用)までに移行計画(詳細スケジュール)の初版作成が必要という理解でよいかご教示いただきたい。	ご認識のとおりです。但し、No.13にも関連しますが、既設システムのリフト方針の検討状況によります。2023/5初が理想ですがNo.13と共に要調整とさせていただきます。
12	入札仕様書 別紙4 要件定義書に対する運用及び保守要求 p.14 3. 移行要求 No5.移行計画	データ移行要件の整理に係る作業ボリュームの把握、および、データ移行方式の検討に活用したいため、「過去6年分」のレコード数、データ容量、種別(DB、ファイルなど)をご教示いただきたい。	本内容は、受託された事業者様のみへの提示とさせていただきます。

No.	仕様書等該当箇所 (ページ、項目等)	質問	回答
13	入札仕様書 別紙 1 技術・プロセス等の提案に関する委託事項 p.7 1. 技術面の詳細化・課題解決に関する提案事項	「既設システムはオンプレでオラクルを使用しているため、リブレースに先行してオラクルクラウドへのリフトを考えている。その後、リブレースで例えばAWS 等に移行する場合の実施方法について提案をお願いする。」とあるが、オラクルクラウドにリフトする時期、システムの範囲（全体、部分）をご教示いただきたい。	既設システムのリフトに関する検討は今年度11月から開始したところであるため、詳細化はこれからとなります。現時点の見込みでは、遅くとも2023年度6月まで（2022年3月目標）にはリブレース側と協調を取りながら方針を決定、2024年度から着手し、移行は2025年度移行を想定しております。本件は既設ベンダーが参加する会議体での議題の一つになる想定です。
14	入札説明書 8.落札者の決定方法	「電力広域的運営推進機関が設定する予定価格の制限の範囲内で、…」とあります。一方で、今回の契約は年度ごとに分割されることが記載されております。予定価格の制限は年度ごとに設けられているのでしょうか。	予定価格については、年度毎での設定は行わず、委託期間全てを対象として設定します。
15	入札説明会資料② p.17 「留意いただきたい変動要素」	制度変更としてあげられている①～④の要件定義～設計～開発～試験の調達は、本案件のシステムリブレースの調達のRFPや予算想定とは別で整理されるとの理解で良いでしょうか。（リブレース側のRFPには①～④の内容を可能な範囲で反映することを想定）	RFP作成期間中については、ご認識のとおり①～④の内容を可能な範囲で反映する想定です。要件が決定せずRFPに反映できない案件も出てくると思いますが、そのまま調達工程へと進めます。開発ベンダー決定後に、議論状況をウォッチしつつ仕様変更で対応（変更に伴う予算不足分は別で整理）することを想定しています。なお、システム運用時期やコストへの影響を抑えるマネジメントが必要となりますので、その旨をRFPに記載するなどの対応は必要かと考えます。記載方法については事業者様に知見をお借りしたい事項となります。（入札説明会資料①スライド P.19第2項）